

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度
国際ロータリーテーマ

世界に希望を生み出そう

RI第2670地区2023-2024年度
ガバナー 吉岡 宏美

Rotary



2023

9

vol.3

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2670
2023-2024 Governor Office
Tokushima-City, Tokushima

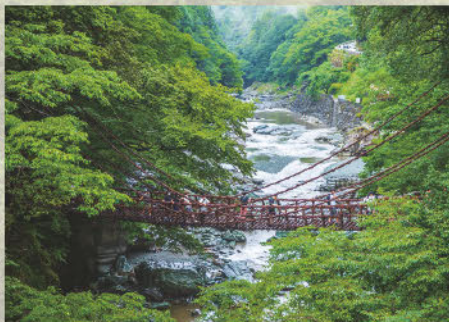


世界に希望を生み出そう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

Sep. 2023 vol.3



祖谷のかずら橋

徳島県の祖谷渓にかかる歴史ある吊り橋です。もともとは、山岳信仰のための交通手段として地元住民によってつくられました。古くは約850年前の平安時代に遡り、蔓を組み合わせて作られた木製の橋は、現在も伝統的な技法を継承しています。渓谷にかかる姿は風光明媚で、特に秋の紅葉の時期には美しい風景が広がり、訪れる人々に、歴史と自然の魅力と共に味わう機会を提供しています。

CONTENTS

ガバナーあいさつ	ガバナー 吉岡 宏美	4
「印刷版」と「電子版」で発行ロータリー活動の発展に寄与	ロータリーの友地区代表委員 坂田 千代子	5
地区委員長あいさつ		
会員増強維持退会防止委員委員会	委員長 安藤 修二	6
クラブ奉仕委員会	委員長 大平 正大	7
職業奉仕委員会	委員長 三谷 芳広	7
社会奉仕委員会	委員長 祖父江 貴	8
国際奉仕委員会	委員長 篠田日出海	8
青少年奉仕委員会	委員長 荻田 智子	9
ロータリー財団委員会	委員長 赤松 昭信	9
米山記念奨学委員会	委員長 久岡 征司	10
広報・IT 委員会	委員長 坂本 厚子	10
ロータリー公共イメージ向上DEI 委員会	委員長 三浦 聖人	11
ロータリー公共イメージ向上DEI・広報IT合同委員会開催		11
短期交換学生受け入れ		12
第4 回長期派遣予定学生オリエンテーション		14
インターアクト年次大会		16
阿南3 クラブ合同事業		18
ガバナー公式訪問報告		19
ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ(再掲)		24
7月度出席報告		25
受賞者一覧		26

Governor's
Message

9月は、基本的教育と識字率の向上月間です。

国際ロータリー第2670地区 2023-2024年度
ガバナー 吉岡 宏美国際ロータリー第2670地区
2023-2024年度 ガバナー

吉岡 宏美

本年9月は、基本的教育と識字率の向上月間です。

日本の教育は世界水準にあると考えられていますが、果たしてそうでしょうか。

保育・幼児教育現場でのパワハラ・虐待のニュース、小中学校での「いじめ」の問題等、また知識の教育のみならず、人としての生き方の教育にかかる課題も多く、対応が求められているように思います。

一方で海外の貧困・紛争等の影響により、教育以前に生活のための就労を余儀なくされている子どもたちが多くいます。タイやミャンマー等において、子どもたちのための学校の開校や施設の整備に多くの日本のロータリークラブが活動しています。

また紛争国、災害の発生した国や地域に対して、教育とともに地域の農業や織物技術の教育等の支援を行っている事例も多く報告されています。子どもたちの教育、そのために必要な生活の安定への支援が求められています。

ゴードンR.マッキナリーRI会長のテーマ、「世界に希望を生み出そう」を支援の必要な国々・地域に実行しましょう。

そして第2670地区にも生活に困窮している人々、支援を必要とする人々が暮らしています。地域の人々に対してもさまざまな支援をロータリーは実施して参りましたが、こうした地域の皆様への支援もまた、「世界に希望を生み出そう」のテーマの実践ではないでしょうか。当地域の皆様への支援も日本で災害にあわれた人々への支援も、世界に希望を生み出すことにつながるのではないのでしょうか。世界全体を見るとともに、地域の現状をしっかりと理解し、適切な支援の手を差し伸べることが求められています。



「印刷版」と「電子版」で発行 ロータリー活動の発展に寄与

ロータリーの友地区代表委員 坂田 千代子 (徳島プリンス RC)



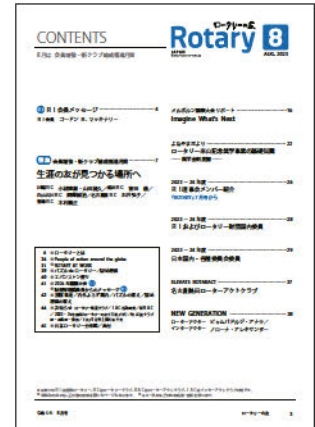
9月はロータリーの友月間です。毎月届くけれど、知っているようで知らない『友』の発行の変遷や意義などを深掘りし、これからもさらに楽しんでご愛読いただきたいと思います。

『ロータリーの友』は、国際ロータリーが認可する、日本のロータリークラブ会員のための雑誌です。誌面では、日本を中心に国内外のロータリークラブの活動のほか、社会・経済・健康分野など関心が高い話題を毎月取り上げています。また、会員同士が親睦を深められるような投稿欄も充実しています。

『ロータリーの友』は、日本のロータリーが発展し、東西2地区に分かれたときにお互いの繋がりを絶やさないようにと、1953年1月に創刊されました。国際ロータリーには30以上の機関雑誌がありますが、その一員となります。機関雑誌の中には、電子版のみの発行の雑誌もあります。どの雑誌にも共通しているのは、RI会長のメッセージなど、RIが指定する記事を掲載していることです。

創刊当初は、横書きだけでしたが、日本の短歌や俳句などはどうしても縦書きになじみがあり、世界のロータリー記事や月間特集記事などは横書きに、日本の地区やクラブの活動などの記事は縦書きということになりました。そして、表裏のない、どちらからでも読めるというユニークな雑誌となっています。

さて、2014年1月号からは『友』の電子版がスタートし、2022年7月号からは、印刷冊子と電子雑誌のどちらかでの購入を選択できるようになりました。そして、随前から進めてきた『友』のデジタルアーカイブもスター



トしました。試しに、会員の皆様のクラブを検索してみてください。過去にどのような記事が投稿されて掲載されたのか、見るすることができます。そして、テーマで検索しますと、同じテーマの奉仕活動のクラブ名や時期がわかります。クラブ同士の繋がりがや連帯になる道が開かれているのです。

『友』の購読料は、定価275円(本体価格250円、会員は送料込)です。会員の皆様からの購読料は、年2回(7月と11月)、クラブから一括して友事務所へ支払われています。印刷版は、毎月末に送られてきます。

皆様の投稿を待っているコーナーは、「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」「うちの子」「声」などたくさんあります。郵送またはEメール(hensyu@rotary-no-tomo.jp)で、名前、所属クラブ、連絡先を記入して送ってください。

2023年1月、『友』は創刊70周年を迎えました。これからも、「ロータリー章典」に定められた「ロータリーの目的をあらゆる面にわたって推進するために存在すること」を順守し、編集方針を定めます。RIの方針や国内外のロータリアンならびにロータリークラブの活動を読者に紹介することにより、ロータリー活動に対する興味を高め、親睦を図り、ロータリー精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与していきます。今後ともご愛読と積極的な投稿をお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



会員増強維持退会防止委員会

委員長 安藤 修二
(観音寺東 RC)

今年度、2670地区の会員増強・維持・退会防止委員会委員長を務めさせていただきます観音寺東ロータリークラブの安藤修二と申します。

昨年の秋口に、今年度のガバナー補佐をお受けすることになったのですが、その時には、地区の会員増強・維持・退会防止委員会委員長も務めさせていただくことになるとは思っていませんでした。

やるからには何か会員増強・維持・退会防止に関連して、地区のためになることをしようと考えていましたが、いざ今年度になると、ガバナー補佐を務めながら、地区の会員増強等について活動することは、時間的に非常に難しい状況でした。

ガバナーのお忙しさに比べると、私の忙しさなど何でもないようなレベルのものですが、本業、所属している観音寺東ロータリークラブの例会場変更問題、本年度香川県RC親睦ゴルフ大会開催の準備、ガバナー補佐としての事務、趣味であるゴルフ、ロードバイク、育児、犬の世話などなど、今が私の人生史上、最も忙しくさせてもらっています。

その中で、本年9月16日のクラブ活性化セミナーの一つの分科会として、当委員会で110分ほど時間をいただくことになりました。現在、その準備をしておりますが、上記セミナーまでは、この準備くらいしかやれることはないと思います。

上記セミナー後には、当委員会でできること、やるべきことを見つける努力をし、見つけたことに挑戦したいと考えております。

一年間宜しくお願い致します。



クラブ奉仕委員会

委員長 大平 正大
(鴨島 RC)

クラブ奉仕委員長を仰せつかりました鴨島ロータリークラブの大平正大と申します。

クラブ奉仕委員会は他の4大奉仕委員会(職業奉仕委員会・社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会)を統括し、クラブの年間目標および長期目標に向けた取組を各委員長さんとともに担当します。

このため、会長エレクト・会長・直前会長が協力し、指導の一貫性と継続性を図る必要があります。会長エレクトは、空席を埋めるための委員および委員長を任命し、年度の開始に先だって年間計画を立てる責務があります。また、委員長は同じ委員会の委員を務めた経験のある会員が推奨されます。

CLP(クラブ・リーダージップ・プラン)の目的は、効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることです。

効果的な要素の一つとして会員基盤を維持・拡大するなどがあります。CLPを実施するには現任、次期、元クラブ指導者が行うものとして、

- 効果的なクラブの長期計画を立案する。
- 長期計画と合致した年間目標を設定する。
- 会長・理事会・会員の間には十分な意思疎通が図られるよう確認する。
- 将来の指導者育成を確実にし、指導者の一貫性と継続性を確保する。
- 会員の親睦をさらに深めるような機会を提供する。
- 会員全員がプロジェクトなどに関与するよう図らう。

など多々ありますが、このプランは毎年見直しが行われるべきと思います。

吉岡ガバナーはクラブ運営に関するお願いとして、ロータリーの活性化への取組み、多様性、特異性のあるクラブづくり、人と人との交流の中で自分自身の成長を実感できる場所であること、委員会活動に関心を以て参加行動することなどを示されています。

会員皆様のご協力、ご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

地区委員長あいさつ



職業奉仕委員会

委員長 三谷 芳広
(徳島 RC)



社会奉仕委員会

委員長 祖父江 貴
(徳島東 RC)

この度、職業奉仕委員長としての役職を拝命いたしました三谷芳広(徳島RC所属)と申します。新たな任期を迎えるにあたり、心よりの挨拶を申し上げます。

私たちは現在、環境問題、技術の革命、社会的格差、そして多様性の受容という未曾有の社会的変革の中にいます。これら現代社会の多様な問題は、これまでの時代とは異なるアプローチを求めています。その中で、ロータリーの「4つのテスト」は、我々が取るべき行動の指針として、今も変わらずその価値を放っていると考えており、ロータリークラブの根源と言っても過言でなく、ロータリーの目的の第2項を土台としている職業奉仕は、この問題を解決する大きな委員会だと認識しています。

職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっている「4つのテスト」を私なりの現代社会的に解釈すると以下の様になりました。最も、高潔性と高い倫理は重視しています。

1. 真実かどうか…偽情報の氾濫する今、真実を追求することは、私たちの社会的責任として重要です。デジタル時代において、信頼性のある情報を皆様に届けることは、私たちの重要な使命です。
2. みんなに公平か…現代社会における社会的格差の拡大を鑑み、公平性の確保は我々の不可欠な使命です。特に弱者やマイノリティ、女性、経済的に困難な状況にある人々へのサポートも意識的行動が必要
3. 好意と友情を深めるか…多様性の受容と相互理解を進める中で、善意と友情は、人々が協力し合い、共に成長するための鍵となります。異なる文化や価値観を持つ会員との交流を行う事でboundaryの無い社会観を築く
4. みんなのためになるかどうか…環境問題やテクノロジーの進化に伴い、新たな価値観やビジネスモデルが求められる時代 になりました。その中で、すべての関係者に利益をもたらす取り組みとは何か、多種多様なロータリアンとの会話が必要になります

これら4つのテストから一日を始め、そして4つのテストで一日を終える日々の継続的行動が重要です。各々の職の道を極め、スキルを身につけ、得られた利の一部を奉仕に務め、大事な事として、次世代の育成・研修を行うことで、目的を達成することができるのではないかと思います。

結びとして、私たち職業奉仕委員会は、皆様一人ひとりの意見や提案を大切にしたいと考えております。どうぞ、お気軽にご意見、ご要望をお寄せください。一緒に社会の変革を乗り越え、新たな価値を創造し奉仕活動を、共に推進して参りましょう。心よりの感謝と尊敬を込めて、ありがとうございます。

本年度、社会奉仕委員会の委員長をさせていただきます、祖父江です。よろしくお願いいたします。ロータリーの基本理念の中に、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と書かれております。

そして、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門があり、その中の1つである社会奉仕を、「社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。」と定義しています。

各クラブの社会奉仕委員長様が、上記の理念を踏まえて新規または継続している事業活動を行えるようにサポートをしまいたいと思っております。

そのために、既存の活動状況を知りたくて、昨年度の社会奉仕活動のアンケートをとらせていただきました。

各クラブは、様々な奉仕活動への取り組みをされており、どの取り組みも数年あるいは数十年にわたり継続活動しており、今後も続ける意向の活動報告でした。

アンケートを踏まえ、新規の活動を計画しているクラブへの情報提供や、問題点の解決策に思慮しているクラブへのアドバイス等、出来ることは限られておりますが、サポートをさせていただければと思います。

各クラブの社会奉仕委員長様には、活動の途中経過・報告、いろいろな情報の提供や、他クラブへのアドバイスなどございましたらご提供をお願いいたします。

1年間よろしくお願いいたします。

地区委員長あいさつ



国際奉仕委員会

委員長 篠田 日出海
(高松南 RC)

前年度に引き続き地区国際奉仕委員長を仰せつかっています高松南ロータリークラブの篠田日出海でございます。

国際奉仕委員会は、青少年長期交換小委員会と青少年短期交換小委員会、および国際奉仕ファンド小委員会の3つの小委員会から成っております。

前年度までの3年間は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行で青少年長期・短期交換プログラムが中止の憂き目に遭っていましたが、今年度から4年振りに再開することとなりました。

皆さんご存知の通り、青少年交換プログラム（長期/短期）は、若者達の“国際理解・親善・平和”を推進しております。今期首には短期交換で米ニュージャージー R17475地区から18名の青少年を3週間受入れ、7月下旬には当地区から18名の青少年を3週間派遣しました。

長期交換プログラムも8月から1年間、4名の高校生を米国へ順次派遣および受入の再開をしております。長期・短期交換の両小委員会は、休止のこの3年間、数多くの会議を行い再開準備のための連絡や情勢判断を行って参りました。今年度以降も青少年の交換がより活発に発展することを祈っています。

また、国際奉仕ファンド小委員会は、基金も残り少なくなりましたが、地区内クラブが実施する発展途上国の貧困脱却や識字率向上、健康向上等の人道的支援プログラムの推進に協力したいと考えております。

ロータリー基本理念の一つに、国際理解、親善、平和を推進することがあります。ロータリアンの皆さんには、青少年の長期・短期プログラムおよび国際奉仕ファンドを活用して、国際奉仕活動へのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員会

委員長 荻田 智子
(高松北 RC)

昨年度に引き続き、青少年奉仕委員長を拝命いたしました高松北ロータリークラブの荻田智子でございます。

2019年、年末よりのコロナ禍により制限されておりました事業も、徐々に活力を取り戻し、それぞれの委員会はそれぞれのプログラムに即して前向きに活動を展開しております。

ご存知のように青少年奉仕委員会は、小中学生を対象とした新世代委員会、高校生を対象としたインターアクト委員会、規定は変更されておりますが、18歳から30歳を対象としたローターアクト委員会。そして、20歳以上を対象とするライラ委員会で構成されております。

このように、それぞれの委員会の対象が異なり、それぞれの組織には特徴があります。しかし4つの委員会は独立したものではなく、相互につながりを持ち、発展的で継続的な取り組みが、望まれます。

私は、それぞれのプログラムに参加する度に、若い時期からよりよく生きるためのテーマを掲げ、よりよく生きるためのスキルを磨く場に出会う青少年のみなさんの姿に力強さと爽やかさと未来に生きる明るさを感じております。

今後とも、青少年奉仕委員会の事業にご理解とご協力、ご指導を賜り、積極的なご参加をお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



ロータリー財団委員会

委員長 赤松 昭信
(高松北 RC)

ロータリアンの皆様には日頃から大変お世話になっております。

“ロータリー財団の使命”は

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること。

以上が我々ロータリアンに課せられた責務であると考えます。

我々の委員会は5つの委員会で構成されています。

資産管理、補助金VIT、資金推進、奨学金学友フェロー、ポリオプラス等と多岐にわたりますが、全てロータリアンの使命を目的にした事業を展開していく目的で作られました。

財団の事業は全てロータリアン一人ひとりの寄付金（推奨150ドル）で運営されています。ご協力を切にお願いします。

近年は地区内から0クラブが無くなっていますが、今一度“ロータリーの目的”は地域社会、職場と世界中での奉仕です”

地区財団活動は、地区補助金申請の各クラブへの配分、グローバル奨学生、地区奨学生等の選考、ポリオ基金への寄付、平和フェローへの寄付等の事業を行っています。

又本年度も次年度へ向けて管理委員会を12月3日高知（山翠園）12月9日高松（パールガーデン）で管理委員会を開催予定されております。各クラブの出席をお願いします。

我々財団委員会は“ロータリー財団の使命”を念頭に同委員会活動を行なっていきます。

最後になりましたが本年度からロータアクトクラブの参加がRIから承認されました。皆様で温かく見守ってあげましょう。



米山記念奨学委員会

委員長 久岡 征司
(徳島 RC)

2670地区のロータリアンの皆様こんにちは、今年度の地区米山記念奨学委員長を拝命しております徳島RCの久岡です。皆様には日頃より、米山記念奨学事業への深い理解と厚い支援を頂いており、大変感謝しております。今回は、この場をお借りして、当委員会の活動概要についてご報告させていただきたいと思っております。

皆様もご存じのとおり、ロータリー米山記念奨学事業は、将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とした、国内最大の民間国際奨学事業です。

当委員会では、奨学事業が円滑に、また効果的に行われるよう、奨学会と連携しながら事業実務の運営を行っており、年度毎の奨学生選考や、奨学生が世話クラブに着地するまでの支援、カウンセラー制度の充実、奨学生の卓話技能の向上、派遣卓話の推進、寄付増進などを目的として、年間を通じて様々な行事を開催しております。

また、当委員会ではこれまで、

- ①地区内全クラブへの奨学生派遣卓話訪問の実施
- ②ロータリアン1人あたりの寄付目標（普通寄付6,000円、特別寄付10,000円）
- ③学友会活動の活性化

という3つの目標を掲げて活動して参りました。今年度も引き続きまして、上記目標の達成に向けて活動するとともに、他の地区との比較で劣勢となっております『特別寄付者割合』についても、増強に向けて取り組んで参りたいと思っております。引き続きまして、ロータリアンの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



広報・IT委員会

委員長 坂本 厚子
(高松北 RC)

2023-2024年度吉岡ガバナー方針は、「挑戦しよう」です。

わたしたちロータリアンは、変化をもたらす人となり、いろんなことに取り組み「挑戦」していかなければなりません。

ロータリーは100年以上に亘り、よりよい地域づくりを目指してきました。ロータリーがどのような団体で、他の団体とどう違うのか、独自性と私たちロータリーの意義を全ての人に理解してもらえよう、伝えていくことが「広報・IT委員会」の役割だと思っています。

「ロータリーという単語は聞いたことはあるけど、いったい何？」という人がたくさんおいでます。今まで、ロータリーは奉仕活動をたくさんしてきました。ロータリーを地域のみなさんにもっと認知していただく必要があります。

そのためには4つの事をしていかなければなりません。

- ① マスメディアや地域の様々なメディアを活用して、RI、地区、クラブでの活動を紹介していく。
- ② 地域のオピニオンリーダーなどと定期的に交流をしていき、公共イメージのPRに努めていく。
- ③ 地区の取組やクラブ内の活動を発信し、地区内のメンバーに取り組みの大切さや成果を共有していき、発展的な活動を作り上げていく。
- ④ My ROTARYへの登録をしていただき、正しいロータリーのロゴを使用すること。

その結果、ロータリーのブランドが強化され、地域のみなさんがロータリーに関心を持ってくれるます。そして、以下の事が実現できると思います。

- 会員増強に繋がる。
- 活動と一緒に参加してもらえる。
- 寄付をしてもらえる。
- 活動に協力をしてもらえる。

広報・IT委員会は、ロータリー公共イメージ向上DEI委員会と一緒にロータリーのイメージ向上に積極的に取り組んでいきます。この活動は、地区メンバーのみなさまのご理解とご協力が欠かせません、一緒にスクラムを組んでいただいて、一年間よろしく願いいたします。



ロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会

委員長 三浦 聖人
(観音寺 RC)

2023-2024年度「ロータリー公共イメージ向上DEI委員会」委員長を引続き拝命致しました三浦聖人(観音寺 RC)です。

昨年度は、初めての委員会と言うことで手探りの中で、RI佐藤理事が提唱する、10月24日の世界ポリオデーに合わせて実施する「ポリオ根絶」PR全国キャンペーンに参加して、当2670地区では下記の2企画を実施いたしました。

一つ目が「四国八十八ヶ所ポリオ根絶祈願参拝」で、各クラブの実情に合った参拝をお願いしました。

二つ目が四国4県の民放で10月23日(日)にロータリーがポリオ根絶に取り組む番組を作成して放映致しました。タイトルは「世界の子供たちをポリオから救う」です。

お陰様で、74クラブ中51クラブ(68.9%)のご参加をいただき、テレビ番組と共に全国の地区から好評価をいただきました。これも一重に、皆様方の協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

今年度は、吉岡ガバナーの方策が「これまでの活動を発展的に継続しよう」と言うことでありますので、今年度も引き続き上記2つの企画を発展させ、そしてDEIに配慮した企画を実施したいと考えております。

ところで、昨年の挨拶でも申し上げましたが、ロータリーでない人は、自分が接する数少ないロータリアンによって、ロータリーのイメージを作り上げる可能性があります。

そういう意味からもイメージ向上を担う役割は、我々委員会よりも個々のロータリアンの方が大きいと思います。

全てのロータリアンが職業奉仕を心がけ、そしてロータリーで経験した感動を多くの人たちと分かち合えることこそが「公共イメージ向上」と言えます。

「公共イメージ向上は一日にして成らず」この言葉の通り我々委員会も長期戦略の下で各クラブの奉仕活動の一助になれる様頑張って参りますので今期も宜しくお願い申し上げます。

Community
Newsletterロータリー公共イメージ向上 DEI・広報 IT
合同委員会開催国際ロータリー第 2670 地区 2023-2024 年度
ロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会 三浦 聖人 (観音寺 RC)
広報・IT 委員会 委員長 坂本 厚子 (高松北 RC)

2023年7月26日(水)15:30～ 高松国際ホテルに於いて初のロータリー公共イメージ向上DEI委員会、広報・IT委員会の合同委員会を開催しました。

当日は、吉岡ガバナー、前田PG、柳澤PG、桑原PG、前田地区代表幹事、両委員会メンバーと、会場での参加が難しい方には、ZOOMで参加をしていただきました。

吉岡ガバナーの「挑戦しよう」という方針と「これまでの活動を発展的に継続しよう」「新たな取り組み革新的な変化に挑戦的に取り組もう」というテーマに基づき、委員会の取り組みについて参加された皆さまからたくさん意見をいただき、両委員会の今年度事業がほぼ決まりました。

この2つの委員会は、ロータリーの活動や奉仕の精神を広く周知し、メディアやプレスリリースを通じて、地域の人々や社会にロータリーを知っていただく活動をしていく委員会であるということを再認識でき、とても



有意義な合同委員会になりました。

公共イメージ向上DEI委員会、広報・IT委員会は、第2670地区ロータリークラブのブランディング向上のために今年度も力を合わせて活動して参りますので、地区の皆さまにおかれましては何卒ご協力の程よろしくお願いたします。

ガバナー事務所から情報配信いたします。
是非、ご登録いただきますようお願いいたします。


 YouTube




短期交換学生受け入れ

国際ロータリー第 2670 地区 2023-2024 年度 国際奉仕委員会
短期交換小委員会委員長 近藤 紳一郎 (徳島 RC)

今から44年前、当RI2670地区・梶浦PGと米国ニュージャージー州北部(以下NJと略) RI7475地区PGロス・レドモンド氏ならびにスベン・ジョンソン氏らのご尽力により、両国間での夏休みを利用しての学生交換ホームステイプログラムが第1回国際短期交換プログラムとしてスタートいたしました。

残念ながら過去に何度か中止となりましたが(2003-04年度はSARS、2009-10年度は新型インフルエンザ、2011-12年度は東日本大震災、2020-22年度は新型コロナウイルス)、1978年の第1回交換プログラムから今日に至るまで、両国あわせて2,000名以上の学生達が参加し、彼らの中には本プログラムに参加したことがきっかけで将来の進路を決定し、現在両国内でご活躍されている方々も多数おられます。

本年度は2019年以來の再開ということで、昨年12月から何度も委員会を開催し、コロナも含めて万全な体制でお迎えすることができました。大島パストガバナー、美馬副委員長はじめ、委員の皆様には感謝しても感謝しきれません。

NJからの受け入れチームは6月28日(木)に来日いたしま



した。羽田での乗り継ぎが遅れ到着が伊丹から関空への変更もありましたが、リーダーのカル御夫妻と学生16名は無事到着いたしました。

その後、京都、奈良を観光の後、30日夕方坂出にてウエルカムレセプションを開催、香川県知事をお迎えし最初のホストファミリーとの顔合わせとなりました。香川



県では直島へのエクスカージョンなど3日間のホームステイを過ごして、7月4日には倉敷、姫路城、広島特に原爆ドームへと見聞を広め2番目のホームステイの愛媛県へ移動、それぞれのホームステイ先で交流を深めていただきました。

7月10日には高知へ向かいました。こちらもホームステイと牧野植物園の視察、高知県知事の訪問 高知放送での放映など多彩なプログラムを楽しんでいたようです。

最後の受入れ徳島では、最終日にフェアウェルパーティー(さよならパーティー)を開催し、受入れ学生たちとの更なる交流を図りました。徳島市長、吉岡ガバナーのバンド演奏 学生の一芸披露、学生のハッピーバースデイサプライズ、四国放送の取材など思い出に残るパーティーになりました

RI2670地区短期交換小委員会は、国際奉仕委員長と短期交換委員長、13名の短期交換委員で構成されており、プログラム実施にはガバナー、ガバナー補佐、地区幹事ほか多くのロータリアンの皆様のご協力をいただいております。特にガバナー補佐ならびに短期委員の皆様におかれましては、会場設営、ホストファミリー選定、派遣学生面接、人数調整、スケジュール調整、学生たちの資料作成等、数多くのお世話をされることをご報告させていただきます。

最後に、この素晴らしいプログラムが、より多くのロータリアンの皆様のご協力により、さらに発展されていくことを祈念致しております。

写真提供/藤崎委員



Long Term
Youth
Exchange
Committee

第4回長期派遣予定学生オリエンテーション 第1回長期交換委員会

国際ロータリー第2670地区2023-2024年度 国際奉仕委員会
長期交換小委員会委員 七條 公光子 (高松北 RC)

2023年7月16日、観音寺グランドホテルにて、第4回目の長期交換派遣予定学生オリエンテーション、第1回長期交換委員会が開催されました。第2670地区の吉岡宏美ガバナーを始めとする役員の方々、瀬野長久長期交換小委員会委員長を始めとする長期交換委員と関係者、2023-2024年度派遣予定学生および保護者の方々、Rotex、ロリポップトラベル高田秀夫社長が出席いたしました。

吉岡ガバナーの開会の挨拶に続き、八田光直前ガバナー、前田康人地区代表幹事、篠田日出海国際奉仕委員長から派遣予定学生へ温かなお励ましのお言葉を賜りました。

そして、岡壯憲、秋山祐里佳、岡田そら、森菜々子学生が英語で5分間の自己紹介。それぞれの持ち味が存分に発揮された堂々たるスピーチに出席者は皆感銘を受け、この交換での成長がますます期待されます。

瀬野委員長から、今治南RCで受け入れていたハナ (Hannah Frances Phillips) が早期帰国となった旨ので報告、ご説明がありました。残念なことではあります



吉岡ガバナー挨拶

が、これからの交換において、そうならないためにどうすればよいか考えるきっかけとなり、大きな教訓が得られました。

続いてロリポップトラベルの高田社長から、渡航についての詳細な説明をいただきました。今も大変な準備を細やかにご対応くださっております高田社長は、学生へのビザが簡単に与えられるのは、RCの保証があるおかげであると教えてくださいました。

別室で長期交換委員会を行い、受入れ学生の来日日



瀬野委員長オリエンテーション

程や、相手地区とのやり取りのコンタクトポイントを瀬野委員長に絞って進めていくことなどを協議いたしました。

昼食後、瀬野委員長からオリエンテーションが行われました。交換を成功させるために必要なことは何か?など、質問を投げ、自分で考えて答える形式で、活発な意見が引き出されました。これまでの実績に基づいた生きたアドバイス、お教えで、学生も、期待に胸を膨らませつつも身が引き締まるような心構えができたものと思われまます。

交換の経験者である上田和恵Rotex、中谷朋暉Rotexは経験者でしか分からない交換生の生活について具体的にお話くださり、ありがたい参考になりました。

最後に役員、委員より激励の言葉が送られ、篠田国際奉仕委員長のお言葉をもって閉会いたしました。閉会后、学生全員が交換のために誂えたロータリージャケットをまとい、集合写真を撮りました。Rotexにも入っていただきましたが、お二人のジャケットには交換先からのピンバッジがびっしりと並び、来年の報告会までにはこうなっているんだねと楽しそうに語っております。



ROTExからのアドバイス

8月中旬に4人の交換学生はそれぞれアメリカへと旅立ちます。交換学生と会えるのは来年の報告会の時となりますが、長期交換小委員会は8月26日、受入れ学生の日本語勉強会、8月27日には第1回受入れ学生オリエンテーション、第2回長期交換委員会を行います。

長期交換事業に携わらせていただき、学生たちの成長を見守りながら、私も多くのことを学ばせていただいております。未来を創る人材育成の大切さを胸に、RCでできることが広がっていきますよう、微力ながら努めてまいります。



長期交換派遣予定学生とRotex

Interact
Committee

インターアクトクラブ年次大会

国際ロータリー第 2670 地区 2023-2024 年度 青少年奉仕委員会
インターアクト小委員会委員長 高岡 淳 (伊予三島 RC)



2023年7月29-30日(土・日)“Start 動きだそう!~SDGs、実践の可能性”をテーマに今治明德高等学校矢田分校インターアクトクラブ主幹で今治明德短期大学大講義室・FC今治里山スタジアムにおいて2日間の日程で年次大会が開催されました。

地区内インターアクトクラブ19校より生徒さん110名・顧問の先生26名・地区役員18名・地区内参加ロータリアン27名・地区外参加ロータリアン2名・ホストロータリークラブ(今治クラブ)49名・事務局2名・合計234名の参加で行われました。

この間コロナウイルスの為中止やビデオ作製・Zoom等になり、一堂に会しての開催は4年ぶりでしたので、もの凄い熱気を感じる大会になりました。また、主幹の今治明德高等学校矢田分校は来年度からFC今治高等学校里山校と学校名を改めるため、本大会が今治明德高等学校としての最後の記念すべき大会になりました。

29日(土)は今治明德短期大学大講義室において、開会式・基調講演・夕方よりFC今治里山スタジアムにおいてFC今治ホーム戦 (FC今治VSテゲバジャーロ宮崎) 観戦、翌30日(日)はFC今治里山スタジアムにおいて、生徒さんが各校バラバラになり16班に分かれてスタジアムツアー及びワークショップ“自然と人間が共生し365日賑わう街作りの核となるスタジアム作りをするには”についてディスカッションを行いました。

開会式では、来賓の徳永繁樹今治市長様が挨拶の中で“市民が真ん中”の街づくりについての様々な施策を述べられました。基調講演はFC今治の運営会社、株式会社今治。夢スポーツ代表取締役社長矢野将文様が“FC今治の挑戦”と題して、“どのような会社を目指して



いるのか”について話をされました。“次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する”という企業理念を作成し、サッカーを基本として、様々な教育・研修活動も盛んに行っている事、“次世代の社会変革者を今治から”を目指し、今の時代に合った教育をする・圧倒的な実践を経験するためにFC今治高等学校を、今治明德学園と共に開校する運びとなった事、“その場に居合わせたからこそ、動き出そう。”の言葉を大切にしている事等話されました。基調講演は、岡田武史株式会社今治。夢スポーツ代表取締役会長様と二人で行う予定でしたが、岡田武史会長様が体調不良のために欠席され一人での講演になりちょっと残念でした。夕方からのFC今治のホーム戦は年次大会参加者の熱気がFC今治の選手達に伝わったのか3-0で圧勝・勝利しました。徳永繁樹今治市長も観戦に来られていて“インターアクトクラブとロータリークラブの皆さんの応援が勝利を導きました。”と言ってくれました。当日の来場者数は3,400人と発表されたと思います。

翌日のワークショップでは、16班に分かれて他校の生徒さんと“里山スタジアムを365日賑わう場所にするには”をテーマに、ディスカッションをしました。各テーブル6~7名の小グループですが、時間がたつにつれ

て各テーブルの声が大きくなっていきました。テーブル毎にアイデアをまとめてみんなの前で発表しました。トータル2時間ほどですがいろいろなアイデアの発表や役割分担などを決めていくうちに、テーブル毎に他校の友人ができたことと思います。こんな体験も今回のように一堂に会しないと出来ない事です。ワークショップの講師(里山スタジアムの経営企画室統括)中川寛之様も、“100人近い生徒さんの前で、自分たちの意見を発表する機会はなかなかありません。この経験をぜひ今後活かしてほしい。”と言われました。

最後に里山スタジアムのメイン席で閉会式を行いました。閉会式では次年度年次大会開催校松山中央高等学校インターアクトクラブ代表横山芹奈さんが“来年松山の地で多くのインターアクターをお迎えし、楽しく学んでいただける企画を検討中です。”と歓迎の挨拶をして終了しました。

インターアクターの生き生きとした笑顔を見るとインターアクトクラブって凄いなあと感じました。また、参加した多くのロータリアンもインターアクターの熱気を感じて元気を貰ったのではないのでしょうか。今治明德高等学校矢田分校インターアクトクラブの皆さんのおかげで素晴らしい年次大会となりました。

ありがとうございました。



Interact
Committee

2023-2024 年度インターアクトクラブ 年次大会を終えて

大会実行委員長 阿部 真弓 (今治 RC)

新型コロナウイルスに悩まされ続けた3年間でしたが、今年度インターアクトクラブ年次大会がリアル開催することが出来、無事盛会に終了いたしました事ご報告申し上げます。

大会テーマは「Start!動き出そう!~SDGs 実践の可能性~」とし、大会期間は2023年7月29日(土)~30日(日)今治明德短期大学/里山スタジアムが会場で開催いたしました。

ホストインターアクトクラブは創立5年目を迎えた今治明德高等学校矢田分校インターアクトクラブです。提唱スポンサークラブは、今治ロータリークラブです。

年次大会のホストインターアクトクラブというお役をいただき、今治明德高等学校矢田分校インターアクトクラブの部員は3年生を中心に大きく飛躍することが出来ました。内山友香会長はじめ3年生達に2年生、1年生が引っ張られ、下級生たちは大会のリハーサルを何回も実施する中で、先輩部員に憧れを持つようになり、全体の動きが良くなり、クラブの全員がインターアクトクラブ年次大会成功に向けて同じ方向を向いている事が手に取るようにわかりました。

近藤都顧問は、生徒たちの自主性を尊重した熱い指導が入ります。最終リハーサルまで、近藤教諭は、声のトーン、間の取り方、礼の仕方、目線の配り方まで、細かなチェックを入れます。私が心に残っている近藤教諭の言葉があります。内山友香会長が書いた文章があまりにも立派だったので、「近藤先生が手直しされたのですか?」と、訪ねたことがありました。すると近藤教諭は「私は生徒が書いてきた原稿は一切手直ししません。皆さんの前で発表するのに、自分の言葉ではない文章を私

が足したり引いたりしたのでは、聞き手に伝わりませんから。」、おっしゃられました。

この指導こそがインターアクトクラブの目指す自主性とリーダーシップを培うことを引き出す事に繋がるのだと確信いたしました。

そして、近藤教諭は大会当日、一切口を出さず、椅子に座ったまま生徒たちを見守っているだけです。生徒たちを信じている事がひしひしと伝わり、それに生徒たちは応えていました。

大会期間中はホスト校、スポンサークラブである今治ロータリークラブのメンバーも約30人が運営いたしました。ご参加いただいたロータリアンの皆様におかれましては、運営や進行にご理解ご協力いただきに感謝申し上げます。期間中多々不手際がありましたが、ロータリーの寛容の精神でお許しください。

インターアクトクラブ年次大会にご参加されなかったロータリアンの皆様、年次大会プログラム詳細等ご興味ただけでしたら、心を込めて作成したパンフレットをご送付させていただきます。

お手数ではございますが今治ロータリークラブ事務局までご連絡ください。

お問合せ先→今治ロータリークラブ
imrotary@dokidoki.ne.jp

最後になりましたが、開催にあたりまして多大なるご協力いただきました関係者様心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に、ホスト校の近藤都教諭より 年次大会終了の感想文をいただいております。ご一読いただければ幸いです。

Interact
Committee

2023-2024 年度ホストインターアクトクラブ

2023-2024 年度 ホストインターアクトクラブ今治明德高等学校矢田分校
インターアクトクラブ顧問 近藤 都

12月始めに今治市役所の住吉 敦さん、彼の主催する「カードゲームSDCsで地域創生」との出会いがあり、会長・幹事研修会のプログラムが定まりました。

実は、年次大会のプログラムは、夢スポーツの青木さんと本校の野住校長とのやりとりでほぼ一年前には決まっていたのです。3月末に来期のリーグ戦のスケジュールが決まり、7月29日(土)は、ナイターのホーム戦ということで、こちらのプログラムも定まりました。FC今治より、「メインスタジアム席を招待で」というオファーをいただき、雨天時の心配が無くなりました。今思えば、台風の影響をなかったのが不思議です。来なくて良かったです。

なにか物事がうまくいくときには、「天の配剤か」と思うようなことが起こります。今回のそれは、今治ロータリークラブ事務局員横山舞奈さんの存在でした。彼女とは、今治工業高校インターアクト部で部員・顧問の間柄でした。高校時代、インターアクターとして、年次大会などの行事を体験していたことも功奏し、遠慮の無いやりとりの中で、助け合いながら準備を進めることができ、当日も臨機応変に対応することができました。

生徒達は、この半年あまりの期間に、見違えるように成長したと思います。

今回の年次大会に先行する※1つのイベントを通じて、特に三年生部員のほとんどが、人間的に大きく成長したと思います。与えられた役割のなかで、自分の長所を更に伸ばそうと、また、短所を克服しようと懸命に努力する姿が随所に見られ、その成果は、開会式や閉会式での堂々とした発表や立ち居振る舞いに顕著に現れていました。外部の方々や他校生にも、物怖じせず、自然体で接することができるようになっています。

顧問として、このような貴重な体験を共にし、生徒達の成長に立ち会うことができたことは、本当に幸せなことでした。

このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。

※1

2022/12/25～26 RID2590/RID2780 神奈川県地区インターアクトクラブ交流会(今治)

2023/4/22 第10回全国インターアクト研究会(高松)

2023/6/4 会長幹事研修会(四国中央市)

Club
Newsletter

阿南 3 クラブ合同事業

阿南南ロータリークラブ 2023-2024 年度
会長 田村 良二

2023年7月23日、阿南南ロータリークラブは創立以来の継続事業としている北の脇海水浴場（徳島県阿南市）での海岸清掃を行いました。

今回は当クラブが毎年この時期に行っているこの事業に併せて、ロータリークラブが提唱する「地球環境保全プロジェクト」の一環として、域内3クラブ（阿南ロータリークラブ・阿南中央ロータリークラブ・阿南南ロータリークラブ）が協働して行う清掃活動と位置付けた奉仕作業となりました。

3クラブで約60人のロータリアンが、ゴミ袋を片手にプラスチック片や不燃ゴミ、ペット、空き缶等を袋いっぱい回収していく姿に、海岸で楽しむ人々からは、「ありがとう」のお言葉をいただき、また海岸の安全を監視している係員さんや行政の方々からも快い応援のお言葉を頂戴しました。

「日本の渚百選」にも選定されるこの海岸は、かつて京阪神からも大勢の海水浴客を呼ぶほどの人気でしたが、近年の猛暑や日焼け回避、またレジャーの多様化などによるいわゆる「海水浴離れ」傾向のうえに、新型コロナウイルス騒動もあって人出はやや低調気味です。しかしここに来てコロナ規制は緩和され、この海岸にも美しい海を求めて海水浴やレジャーを楽しむ人々が徐々に戻りつつあります。長年の奉仕活動で愛着が深いこの渚



が再び脚光を浴びることを大いに期待しています。

太平洋に臨んで特徴のある海岸を有するこの地域にはまた那賀川水系を中心とした多くの河川があります。「地球環境保全プロジェクト」は海岸・河川など水際の環境整備が重点とされています。豊かで美しいこれらの自然環境をよりよい状態で後世に未永く受け渡してゆく責務が私たちにはあると考えています。

そして、それぞれに地域の核として機能している私たち近隣のロータリークラブが協働して事業を行うことは、地区運営方針に合うものでロータリークラブの理念をアピールする絶好のチャンスだと捉えています。

恵まれた自然に適切に手を加えながら心地よい環境を創り出して、そこが多くの人にとっての拠り所として認められることを願い、今後も活動していきたく思います。



ガバナー公式訪問報告

高松北ロータリークラブ

7月3日(月) JRホテルクレメント高松



▶クラブ紹介:会長 渡辺 昌明 幹事:小川 和成

高松北クラブは、創立1980年11月です。

今期の会員数は82名で渡辺昌明会長は60才と、男としては脂の乗った会長です！当クラブは前期、八田ガバナーを排出しており今期も地区の委員長、地区委員も約14名出向しております。

また、北クラブ独自の活動で青少年奉仕ではゴルフ・サッカー・バスケ等、青少年奉仕活動を行っており、公共イメージ向上では、ポリオデーの宣伝等、ラジオ、テレビにて広報活動を行っております！

上記の活発な活動をクラブ会員全員で行っており、渡辺会長は今期10人プラスの会員増強を考えております！

また、北クラブ82人の内チャーターメンバー、中堅所50～59才が16名、40～49才が19名、平均年齢61.5才で、これからも2670地区で活動出来るクラブと思えます。

▶随行者コメント

恒例により八田直前ガバナー輩出の高松北RCに訪問させていただきました。今年度の「チャレンジ」において①会員増強10名プラス②ミニバスケットチームの支援③公共イメージ、FM香川で30分番組を3回でRCのPR。さらに会長の思いを単年度で終わらせることないように「マタギ会」をつくり3年計画で引き継いでいくとの戦略です。各委員会では若い人を委員長に据え、重鎮を補佐として配属し公平性を保ちながら、新しいことにチャレンジする仕組みを作っています。会長幹事をはじめメンバーの熱い思いを感じました。(北 哲也)



観音寺東ロータリークラブ

7月4日(火) 観音寺グランドホテル



▶クラブ紹介:会長 湯口 弘章 幹事:丸岡 俊文

観音寺東ロータリークラブは45年前、観音寺クラブをホストクラブとし設立されました。現在会員数は28名。女性会員が5名在籍しており、女性比率が17.8%。2670地区内でもかなり女性比率の高いクラブと思っております。5月27日実施した45周年記念事業は会員全員の協力により、わきあいあいと素晴らしい式典事業が開催できました。我がクラブは本当に仲の良いクラブだなど、あらためて感じています。新年度にあたり、我がクラブは大きな問題を抱えております。今年度は香川第Ⅱ分区ガバナー補佐、安藤修二補佐を輩出いたします。クラブ全員で安藤補佐のサポートを全力で行う予定の年度でしたが、例会場である観音寺グランドホテルが11月末をもつての閉館が決定しました。それに伴い「新例会場探し」、そこで「通常例会の運営を行う」という問題が発生しました。また、シーズン行事の懇親会やグランドホテルに頼っていた行事も、新たな会場探しから始める必要性があり、多大な問題が山積した新年度のスタートとなっております。会長としては、50周年に向けて会員増強をはかり安藤補佐をしっかりサポートする1年にしたいと考えていましたが、新たな問題を解決し、なんとか通常運営ができる1年にしたいと考えております。

▶随行者コメント

会長、幹事、メンバーは少人数ながら、出席率も高くとても良くまとまっている感じを受けました。社会奉仕活動として①小学校のプールへのEM菌の投入の継続②海洋清掃の継続③三豊観音寺地区の中学校野球大会④お遍路ウォークの支援。ウユニ湖のような「父母ヶ浜」の清掃活動を地元の方と一緒にこない、「浦島ヨットレース」のサポートも、「ペットボトルからマイボトルへ」をキャッチフレーズに活動しています。例会場移転が大きな問題ですが、早く解決して欲しいと思いました。(北 哲也)



ガバナー公式訪問報告

徳島西ロータリークラブ

7月18日(火) JRクレメントホテル徳島



▶クラブ紹介:会長 小川 亨 幹事:大久保 光

当クラブは本年度創立65周年を迎えます。この3年間はコロナの影響により思うような活動ができなかったが今年度においてはその障壁もなくなりつつあります。当クラブには「友情に厚く、親睦を深めよう」という代々引き継がれてきた良き伝統があります。奉仕を通じ友情と親睦を深める活動に取り組むことで明るく元気な徳島西ロータリークラブの創造を目的に活動しております。

▶随行者コメント

昭和34年に徳島RCがスポンサークラブとなり創立され、1995～1996年度に佐藤成俊ガバナーを輩出された徳島西RCを訪問させていただきました。小川会長が、クラブの良き伝統である「友情に厚く、親睦を深めよう」のテーマを継承し、会員の笑顔あふれる居心地の良いクラブとなるよう努めておられます。また、主な継続事業は、
①徳島市剣道錬成大会の支援
②徳島市植物園の植樹
③とくしま森林づくり県民会議と進めている緑化プロジェクト等、となっていますが、会員数が以前は96名でしたが現在では33名となっていることから、本年度は会員増強に特に力を入れるとのことでした。年齢構成は大きな偏りも無く、まとまりを感じるクラブでした。(濱野 正祐)



阿南中央ロータリークラブ

7月19日(水) コート・ベール徳島ゴルフクラブ



▶クラブ紹介:会長 町田 哲子 幹事:田中 勇一

▶随行者コメント

阿南中央RCは会員数20名の内、女性会員が4名と女性比率が高く、そしてアットホームな雰囲気クラブです。例会場がクラブハウス内ということもあり、7月中旬に訪問させていただいた際には窓から見える芝が青々として清々しく、窓から入る心地良い風も相まって、和気あいあいとした雰囲気の中で会長・幹事懇談会を行うことが出来ました。今年度は創立20年記念事業として成人の日に女子プロを招いたゴルフ大会の開催や、例会場が阿南市の指定避難所でもあることのPRなど、多様な活動を企画されているとのことでした。(井上 篤弘)



ガバナー公式訪問報告

小松島南ロータリークラブ

7月19日(木) みどり旅館



▶クラブ紹介:会長 赤井 美久 幹事:高木 俊人

「当クラブは、例会を夜間例会とし、各会員が出席しやすいようにしています。

ここ数年は、少数ではありますが、毎年新規会員が入会しており、今後も会員増強に努めていきます。

今年度の目標は純増3名です。

また、心身障害児施設「めだか学園」への支援を続けており、今年度も継続して行う予定です。

▶随行者コメント

吉岡ガバナー、林ガバナー補佐、細川会員とともに小松島南ロータリークラブを訪問しました。

小松島南ロータリークラブの例会場はみどり旅館で、毎週水曜日夜間に例会が開催されています。今年度の会長は赤井美久さん、幹事は高木俊人さんです。会員数は21名、平均年齢64歳です。楽しくなければロータリーでないをモットーにしてなごやかなクラブ運営が行われています。小松島南ロータリークラブは今年で創立50周年を迎えます。50周年事業の計画が進んでいるようです。姉妹ロータリークラブの台中西南RCとの交流は46年続いています。心身障害施設めだか学園の支援や小松島横須海岸の清掃等の社会奉仕活動も行っています。

特筆すべきは会員数21名で年間70万円近くのニコニコがあるということです。(中津 清)



徳島プリンスロータリークラブ

7月21日(金) 徳島グランヴィリオホテル



▶クラブ紹介:会長 佐野 美佐子 幹事:高木 博代

▶随行者コメント

会長・幹事ともに女性で会員の女性比率が高く、年齢構成もバランスがよく例会は活気が感じられました。

昨年度、例会出席率の平均は約88%、4~6月は100%です。今年度は創立30周年で来年6月の記念事業に向けて実行委員会を立ち上げて準備を進めています。

社会奉仕では年2回の吉野川河川敷清掃奉仕活動を20年以上継続。アフリカ眼科医療活動支援など海外支援も積極的に行ってきました。佐野会長が掲げていらっしゃる今年度のテーマは「挑戦と成長」です。テーマの通り、とても意欲的なパワーを感じる例会でした。(長野 和佳子)



ガバナー公式訪問報告

鴨島ロータリークラブ

7月25日(火) セントラルホテル鴨島



▶クラブ紹介:会長 木村 慎祐 幹事:谷 哲也

▶随行者コメント

吉岡ガバナー・笠井ガバナー補佐、随行者徳島RC松浦、泊の計4名で創立65周年の鴨島RCに公式訪問いたしました。

鴨島RCより木村会長、谷幹事、尾崎副会長、三倉副幹事でお迎えいただきました。当クラブの特色としてフィリピンのセントラルタルラックRCと早くから国際奉仕活動を続けてきました。また地域の子ども食堂の応援を積極的に行っています。持続的なロータリー活動をするにあたり吉岡ガバナーよりロータリー単体ではなく地域のボランティア団体と相互理解を踏まえ情報共有する場を持つ、また一つのクラブだけではなく数クラブで協力体制を敷き、継続させることを提案いたしました。

それにより参加者が増え、よりその地域としての活動として持続可能なものになるだろうとお話されました。

これこそが日本人初のRI会長 東ヶ崎潔氏のテーマPARTICIPATE! (参加しよう) であると感じました。それを教えてくれたのはタイ米山を応援し続けたピチャイさんであったことが感慨深いです。(泊 健一)



徳島東ロータリークラブ

7月27日(木) JRホテルクレメント徳島



▶クラブ紹介:会長 齋藤 智彦 幹事:松家 秀樹

▶随行者コメント

吉岡ガバナー・林ガバナー補佐、随行者徳島RC泊、大久保の計4名で徳島東RCに公式訪問いたしました。東RCより齋藤会長、松家幹事にお迎えいただきました。

当クラブの特色として台湾羅東西区扶輪社と親交を続けており、また地域の子ども食堂や徳島市立高校生への奨学金の応援を積極的に行っています。

吉岡ガバナーより、ロータリー単体ではなく地域のボランティア団体と相互理解を踏まえ情報共有する場を持つ、また一つのクラブだけではなく数クラブで協力体制をしき継続させることを提案、それにより参加者が増えよりその地域としての活動として持続可能なものになり公共イメージの向上につながるのお話がありました。また多様性と公平性を重んじそこに帰属する喜びを分かち合おう「DEI&B」を提唱いたしました。和やかな良い時間を共有できました。(泊 健一)



ガバナー公式訪問報告

高松西ロータリークラブ 7月28日(金) JRホテルクレメント高松



▶クラブ紹介:会長 磯崎 裕騎 幹事:吉岡 哲哉

わがクラブは創立1969年4月14日、同年11月9日にチャーター・ナイトを迎えた今期55周年を迎えるクラブです。第2670地区香川第一分区に属し、分区の中では5番目に古いクラブです。

2012-2013年度には木村大三郎ガバナーを輩出し、クラブ全員で地区大会を支えました。2019年4月14日には50周年記念式典を高松市の香川国際会議場にて行いました。

▶随行者コメント

高松西RCは、1969年創立の伝統あるクラブで、磯崎会長、吉岡幹事のもと会員数40名で活動されています。

当日は11:30より会長・幹事懇談会を開催し、吉岡ガバナーから、国際ロータリー会長の方針等を中心にご説明の後、意見交換が行われました。

12:30より例会に移り、吉岡ガバナーによるガバナー・アドレスが行われました。

なお、例会場ではテーブルを「〇月生まれ」で分けておられ、聞けば毎回、干支や委員会で分ける等、メンバーが固定しないようにしているとの事で、工夫が印象的でした。

皆様には歓迎の横断幕を入口にご掲出いただく等、温かくお迎えいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。(灘井 裕紀)



徳島県知事表敬訪問



7月5日 徳島県知事の表敬訪問に吉岡宏美ガバナー、笠井俊彦徳島第Ⅱ分区ガバナー補佐、前田康人代表幹事をはじめ徳島ロータリークラブのメンバーを含めた8名で訪問して参りました。

後藤田正純徳島県知事に国際ロータリー第2670地区ガバナー就任挨拶と地区大会へのご出席の依頼をさせていただきました。



国際ロータリー第 2670 地区 2023-2024 年度

ガバナーエレクト事務所 開設のお知らせ

再掲：番地が変更になりました。

国際ロータリー第 2670 地区
2023-2024 年度

ガバナーエレクト 夏見 良宏
次期地区代表幹事 和泉 清憲

住所：〒763-0024
香川県丸亀市塩飽町 48-1
丸亀プラザビル 5F
TEL：0877-35-8382 FAX：050-3171-2778
mail：info2425@rid2670.jp
執務時間：9 時～ 16 時（土・日・祝休み）



拝啓 酷暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度2023・2024年度ガバナーエレクト事務所を下記の通り開設いたしましたのでご案内申し上げます。今後とも、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

7月度出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
香川第一分区	さぬき	57.89	19	0	0	4
	東かがわ	91.30	23	0	3	4
	小豆島	86.76	35	0	2	4
	高松	100.00	86	2	9	4
	高松中央	86.05	32	0	0	3
	高松グリーン	90.85	39	0	4	4
	高松東	100.00	46	0	4	4
	高松北	92.81	80	-1	6	4
	高松西	75.86	41	1	2	3
10RC	高松南	82.50	58	0	2	4
香川第二分区	観音寺	91.05	40	1	4	4
	観音寺東	90.74	26	-2	4	4
	琴平	100.00	9	0	0	4
	丸亀	77.16	55	0	4	4
	丸亀東	70.63	43	4	3	4
	坂出	93.59	40	0	1	4
8RC	坂出東	91.25	72	1	12	4
	善通寺	87.22	37	0	0	4

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
高知第一分区	安芸	89.86	19	0	2	4
	中芸	77.27	12	0	0	4
	香長	85.00	10	0	0	4
	高知中央	71.68	46	0	0	3
	高知東	100.00	54	1	6	3
	高知南	91.71	80	3	11	3
7RC	高知ロイヤル	88.71	21	0	3	3
高知第二分区	高知	89.70	90	1	12	4
	高知西	86.49	74	-1	2	3
	高知北	78.63	33	1	3	4
	中村	77.84	55	1	7	4
	四万十	67.86	10	0	1	3
	仁淀	87.50	17	0	2	2
	宿毛	53.41	26	0	0	4
8RC	須崎	76.67	15	1	0	2

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
愛媛第一分区	今治	97.32	49	-1	3	3
	今治北	87.65	21	0	1	4
	今治南	100.00	67	3	0	4
	伊予三島	91.67	35	-1	1	4
	川之江	94.21	47	-1	0	4
	新居浜	91.67	68	0	2	4
	新居浜南	92.68	15	0	3	3
	西条	84.82	28	0	0	4
	9RC	東予	98.23	30	0	1
愛媛第二分区	北条	87.50	11	0	0	4
	伊予	90.63	33	0	0	4
	道後	81.82	30	1	2	3
	松山	66.30	70	3	4	4
	松山東	72.22	24	2	0	4
	松山北	89.41	29	2	2	3
	松山南	86.08	53	1	5	3
	松山西	85.87	24	0	2	4
	大洲	70.00	33	0	3	4
	宇和島	88.89	18	0	2	3
	11RC	八幡浜	81.25	23	1	0

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
徳島第一分区	徳島	93.75	81	2	5	4
	徳島東	58.00	53	0	2	3
	徳島北	81.48	30	0	6	4
	徳島プリンス	93.98	79	0	11	4
	阿南	70.59	53	-1	5	4
	阿南南	88.30	50	2	0	4
	小松島	74.50	18	0	0	4
	小松島南	76.19	21	0	0	4
	阿南中央	70.00	20	0	4	3
	10RC	徳島眉山	52.83	13	0	1
徳島第二分区	阿波池田	75.00	41	0	0	4
	御所	81.37	25	0	5	4
	鴨島	94.92	49	0	4	4
	鳴門	67.84	45	1	4	4
	鳴門中央	87.77	38	1	2	4
	徳島中央	70.19	26	0	3	4
	徳島南	77.18	38	3	3	4
	徳島西	87.90	33	1	4	4
	脇町	80.00	40	0	2	4
	阿波徳島	33.69	23	0	1	4
	11RC	美馬	69.44	27	0	4

	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数
74RC合計	82.58	2,854	32	206

受賞者一覧

米山功労者
メジャードナー



山崎 啓輔
高知西RC

マルチプル
米山功労者



山岡 俊則
高知西RC

米山功労者



越智 大輔
今治RC

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



大塚 和助
中村RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



井上 克彦
中村RC



一藤 勝之
中村RC



大杉 幹夫
中村RC



梅原 薫
中村RC

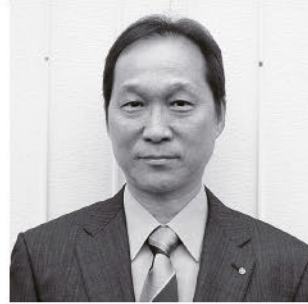
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



福原 紀夫
中村RC



弘内 英一郎
中村RC



加用 高常
中村RC



佐田 博
中村RC

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



稲田 玲子
中村RC

物故会員



秋山 佳弘
丸亀東RC
2023年6月13日ご逝去
享年77歳

ご冥福をお祈り申し上げます

ガバナー事務所から情報配信いたします。



是非、ご登録いただきますようお願いいたします。

ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信は従来の冊子の配布に変えてネット配信となっています。また、youtubeでの配信も行っていますので、ぜひご活用ください。ガバナー事務所のHPでの月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<http://rid2670.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

monthly2324@rid2670.jp

●物故会員の連絡について

クラブ名・氏名・逝去年月日を記載の上、顔写真（ファイル名を氏名にしてください。）を添付してください。

●出席報告について

毎月最終例会後、翌日15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

●受賞者紹介について

ホームページ上の受賞者一覧にクラブ名・氏名を入力の上、顔写真（ファイル名を氏名にしてください。）を添付してください。

●クラブの行事や活動状況について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

ガバナー月信の締切は毎月15日です。

↓までお送りください。

monthly2324@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

e-mail:tokushima2023-24@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事:前田 康人/担当幹事:松下浩太郎
〒770-0941 徳島県徳島市万代町3丁目5-4 近藤ビル4階 TEL:088-676-2172 FAX:088-676-2173
e-mail:monthly@rid2670gov23-24.jp

